

[報告事項1] 平成 28 年度事業報告

1. 研究発表会・セミナー・公開講演会等の開催

(1) 研究発表会

1) 本部: 第 68 回大会を開催

5月27～29日、金城学院大学、参加者 688 名 研究発表: 口頭発表 152 題、ポスター発表 139 題

2) 支部: 研究発表会、卒業論文・修士論文発表会等を開催

東北・北海道支部	10月1日
関東支部	2月22日
中部支部	10月29日、2月18日
関西支部	10月30日
中国・四国支部	10月2日
九州支部	10月15日

3) 部会: 研究発表会を開催

家政学原論部会	8月22・23日
生活経営学部会	8月25日
家族関係学部会	10月9日
食文化研究部会	11月20日
被服衛生学部会	8月25日

(2) セミナー

1) 本部: 第 1 回家政学夏季セミナーを開催

8月29日～31日、実践女子大学、参加者 112 名

公開講演会、部会企画講演会、若手講演会、部会合同事例報告会、見学会

2) 部会:

家政学原論部会	8月22・23日
被服構成学部会	8月24・25日
被服衛生学部会	8月25・26日
家政教育部会	9月5・6日

(3) 公開講演会・シンポジウム等

1) 本部: 第 68 回大会時に開催(5月28・29日)

公開講演会、東日本大震災生活研究プロジェクト活動報告、国際交流ワークショップ

ランチョンセミナー、教育講演

暮らしカフェ(3月11日、三省堂成城コルティ)

2) 支部: 公開講演会を開催

東北・北海道支部	10月1日
関東支部	4月23日、9月6日、10月8日
中部支部	10月29日、2月18日
関西支部	10月30日
中国・四国支部	10月1日
九州支部	10月15日

3) 部会: 公開講演会を開催

生活経営学部会	8月26日
家族関係学部会	10月8日
食品組織部会	9月1日
食文化研究部会	11月20日
被服衛生学部会	8月26日、12月3日
色彩・意匠学部会	8月22・23日、3月4日
服飾史・服飾美学部会	11月4日
住居学部会	5月28日

シンポジウムを開催

児童学部会	5月29日
被服心理学部会	3月4日

部会企画を開催

被服整理学部会	5月29日
被服衛生学部会	5月29日
服飾史・服飾美学部会	5月29日
家政学原論部会・生活経営学部会・ 家族関係学部会・家政教育部会合同	5月29日

4) 若手の会: 第 68 回大会時に講演会・パネルディスカッション(5月29日)を開催

2. 学会誌・その他の図書の刊行

(1) 本部

- 1) 学会誌:「日本家政学会誌」67巻4号～12号及び68巻1号～3号(12回)を各3,000部発行し、J-STAGEで公開した。
【掲載された論文の種類・部門別編数内訳及び総ページ数】

巻号	第67巻										第68巻			掲載された論文数合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
種別	報文	1	2	0	1	2	2	1	2	2	1	2	1	17
	ノート	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	6
	資料	1	1	2	1	0	2	1	2	2	1	1	1	15
部門別編数	原論・経営					1		1			1			3
	児童・家族		1	1				1				2	1	6
	食物	1		1			2	1	2	1	1		1	10
	被服		2		2		1			2		1		8
	住居				1		1							2
	教育・その他	1	1			2			2	1	1		1	9
合計	2	4	2	3	3	4	3	4	4	3	3	3	38	
ページ数	20	42	13	30	32	35	32	41	36	34	31	36	382	

【投稿された論文の部門別内訳】

▲減少(編)

部門	原論・経営	児童・家族	食物	被服	住居	教育	その他	合計
平成27年度	5	4	15	13	2	10	0	49
平成28年度	8	14	31	15	6	8	2	84
増減	3	10	16	2	4	▲2	2	35

【審査が終了した論文の内訳】

(編)

内訳	掲載済	印刷中	著者取り下げ	却下	合計
平成28年度	27	9	10	15	61

- 2) 大会要旨集: 第68回大会研究発表要旨集、5月に900部発行、J-STAGEで公開。
3) セミナー要旨集: 第1回家政学夏季セミナー講演要旨集、8月に150部発行。
4) 『東日本大震災 石巻市における復興への足取り—家政学の視点で生活復興を見守って—』(建帛社)、11月に出版。

(2) 支部:

東北・北海道支部	「平成28年度研究発表会要旨集」
関東支部	「家政学関連卒業論文・修士論文発表会要旨集」
中部支部	「第61回(平成28年度)大会要旨集」 「若手の会主催公開講演会 第17回家政学関連院生・学生研究発表会要旨集」

(3) 部会: 以下の部会誌・研究誌、セミナー要旨集等を刊行した。

家政学原論部会	「家政学原論研究」(No.50; J-STAGE上に公開) 「家政学原論部会夏期セミナー発表要旨集」
生活経営学部会	「生活経営学研究」 「生活経営学部会夏期セミナー報告要旨集」
家族関係学部会	「家族関係学」 「家族関係学セミナー 公開シンポジウム・自由報告要旨集」 「家族関係学部会ニュースレター」
児童学部会	「児童学研究」
食品組織部会	「食品組織部会会報」
食文化研究部会	「会誌食文化研究」
被服構成学部会	「被服構成学部会誌」 「被服構成学部会夏期セミナー要旨集」
被服衛生学部会	「被服衛生学」 「被服衛生学セミナー要旨集」 「被服衛生学部会公開講座要旨集」
被服心理学部会	「被服心理学春季セミナーテキスト」
色彩・意匠学部会	「色彩・意匠学部会会報」 「色彩・意匠学部会公開講演会 講演要旨集」 「色彩・意匠学部会公開講演会 春季セミナー要旨集」
服飾史・服飾美学部会	「服飾史・服飾美学部会報」

3. 研究及び調査の実施

- (1) 本部: 東日本大震災生活研究プロジェクトでは、平成 28 年 4 月に支援団体および学校関係者へのインタビュー調査、4 月と 7 月に仮設住宅の温熱環境・睡眠状況調査、12 月と平成 29 年 1 月に震災後の生活に関するアンケート調査と被災者の生活行動調査、平成 29 年 1 月に福祉仮設調査を実施した。また、平成 28 年 10 月に一般社団法人石巻じちれんが主催した講演会(市営新蛇田第一集会所)で宮野道雄氏が復興公営住宅居住者を対象に「居住環境の問題解決と生活復興」について講演を行い、さらに新蛇田地区復興住宅居住者を対象としたアンケート調査および温熱環境・行動調査を平成 28 年 12 月に実施した。石巻の伝統的な食生活の継承を目的とした生活支援として、食生活改善推進委員への聞き取り調査をもとに石巻の伝統的な料理や特産物の利用についての本の出版に向け、石巻の老舗料亭の協力により 5 月、6 月、8 月、9 月、11 月に試作を行い、原稿が完了した。
- (2) 支部: 関東支部若手の会で勉強会を実施

- (3) 部会: 研究会、調査等を実施

家政学原論部会	食文化研究部会	被服材料科学部会	被服整理学部会	被服構成学部会
被服衛生学部会	被服心理学部会	色彩・意匠学部会	服飾史・服飾美学部会	家政教育部会

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

- (1) 本部

- 1) 平成 28 年度日本家政学会賞として以下の通り表彰した。
 学会賞: 中村久美氏、布施谷節子氏
 奨励賞: 太田茜氏
 功労賞: 市川朝子氏
- 2) 活動助成として以下の支部、部会に助成を行った。
 支部: 関東支部、中部支部、関西支部、九州支部
 部会: 生活経営学部会、家族関係学部会、食品組織部会、被服構成学部会、被服衛生学部会、被服心理学部会、色彩・意匠学部会、服飾史・服飾美学部会
- 3) 支部活動活性化サポートとして以下の支部に助成を行った。
 関東支部、関西支部、中国・四国支部
- 4) 第 68 回大会活性化提案企画として以下の部会および若手の会に助成を行った。
 部会: 4 部会合同(家政学原論部会・生活経営学部会・家族関係学部会・家政教育部会)、児童学部会、服飾史・服飾美学部会、住居学部会
 若手の会
- 5) 第 68 回大会において武藤嘉則氏、萬羽郁子氏に「若手研究者ポスター賞」を授与した。

- (2) 支部

- 1) 東北・北海道支部:
 - ①若手研究者 1 名へ研究助成金を支給した。
 - ②研究発表会において、院生・学生発表者 1 名へ発表奨励賞を授与した。
- 2) 関東支部:
 - ①家政学関連卒業論文・修士論文発表会において表彰を行った。
 - ②若手の会活動に研究奨励金を支給した。
- 3) 中部支部:
 - ①若手の会の活動に奨励金を支給した。
 - ②日本家政学会誌論文掲載者 1 名に中部支部論文奨励賞を授与した。
 - ③家政学関連院生・学生研究発表会発表者 2 名に中部支部院生・学生発表奨励賞を授与した。
- 4) 関西支部:
 - ①若手研究者 4 名に若手優秀発表賞を授与した。
- 5) 中国・四国支部:
 - ①若手研究者 1 名に支部賞を授与した。
- 6) 九州支部:
 - ①若手研究者 1 名に九州支部賞を授与した。
 - ②高校生による家政学研究発表会を開催し、感謝状を授与した。

- (3) 部会

- 1) 家政学原論部会: 各地区会および行動計画研究グループに研究活動費を補助した。
- 2) 生活経営学部会: 各地区会および若手の会に研究活動費を補助した。
- 3) 食文化研究部会: 石川松太郎食文化研究奨励賞を 1 名に授与した。
- 4) 被服構成学部会: 第 17 回全国中学生創造ものづくり教育フェアで被服構成学部会賞及び奨励賞を授与した。

5. 内外の関連学協会等との連携及び協力

- (1) 本部

- 1) 国際交流委員会: 国際家政学会(IFHE)・アジア地区家政学会(ARAHE)の組織や大会に関する広報、IFHE との連携活

- 動(年次理事会への国際担当特別委員の派遣、国際家政学会日本連絡会の活動、平成 28 年韓国大会のプレコングレンスの実施、IFHE 会費代行サービスの実施)、ARAHE との連携活動(第 19 回日本大会に向けての準備、実行委員会の活動)、学会誌に「国連の持続可能な開発目標(SDGs)と家政学の取り組み」シリーズ掲載等の活動を行った。
- 2) 関連学会との交流: 日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分会及び関連学会と連携して、生活科学系コンソーシアムへの準備を推進した。
- 3) 学協会関係: (一社)日本調理科学会、(一社)日本繊維製品消費科学会、日本家庭科教育学会他、関連学協会との事業の共催、学会誌の交換、情報の交換等を行った。
- 4) 公益信託家政学研究助成基金: 学会員 2 名に対し研究助成された。

- (2) 部会: 家族関係学部会 The 5th Regional Symposium of CIFA(韓国ソウル市)に co-organizer として参加し、シンポジスト、口頭およびポスターで研究報告を行った。

6. その他の目的を達成するために必要な事業

- (1) 総務委員会: 一般社団法人移行に伴い諸規程等の全面見直しを行ってきたが、平成 28 年度も引き続き「規程等集」の整備を行った。
- (2) 企画・広報委員会: (一社)日本家政学会パンフレットを刷新し、発行した。
- (3) ホームページ委員会: ①本部ホームページをリニューアルするとともに、ホームページの安定した維持管理、運営、掲示内容の充実を図った。②掲載依頼記事の迅速なアップロードを行った。③関東支部および九州支部のホームページを、本部ホームページ管理サーバーに統合した。④入会申込をホームページから行えるようにした。
- (4) 編集委員会: ①編集委員会に属する規程等の見直しを行った。②査読の迅速化に努めた。③学会誌論文と年次大会の研究発表要旨を、J-STAGE で公開した。
- (5) 刊行委員会: 家族関係学部会を中心とする著書の刊行が企画された。
- (6) 家庭生活アドバイザー資格検討委員会: 家政学に関する資格認定準備のためのパイロット事業を企画検討した。

7. 本部、支部及び部会の総会等の開催

(1) 総会

- 1) 本部: 平成 28 年度代議員総会、5 月 28 日、金城学院大学 アニー・ランドルフ記念講堂、参加者 65 名(代議員 45 名(内書面出席 10 名)、理事他 20 名)

2) 支部:

通常総会	東北・北海道支部 関西支部	関東支部 中国・四国支部	中部支部 九州支部
臨時総会	東北・北海道支部		

3) 部会:

通常総会	家政学原論部会 食品組織部会 被服構成学部会 服飾史・服飾美学部会	生活経営学部会 食文化研究部会 被服衛生学部会 家政教育部会	家族関係学部会 被服材料学部会 被服心理学部会	児童学部会 被服整理学部会 色彩・意匠学部会
臨時総会	家族関係学部会 被服衛生学部会	被服材料学部会	被服整理学部会	被服構成学部会

(2) 理事会、役員会等

- 1) 本部: 理事会 4 回、臨時理事会 2 回、役員連絡会 3 回、全体部会長会 1 回

2) 支部:

東北・北海道支部	支部役員会 2 回
関東支部	5 回
中部支部	支部役員会 3 回、支部役員連絡会 2 回
関西支部	5 回
中国・四国支部	支部常任幹事会 1 回、支部機関幹事会 1 回
九州支部	支部役員会 1 回、支部臨時役員会 2 回

3) 部会:

家政学原論部会	常任委員会 6 回、新旧役員会 1 回
生活経営学部会	部会常任委員会 7 回、部会役員会 1 回
家族関係学部会	部会役員会 2 回、新旧役員会 1 回
児童学部会	2 回
食品組織部会	1 回
食文化研究部会	6 回
被服材料学部会	部会幹事会 2 回

被服整理学部会	1回
被服構成学部会	部会運営委員会3回
被服衛生学部会	2回
被服心理学部会	2回
色彩・意匠学部会	3回
服飾史・服飾美学部会	3回
住居学部会	1回
家政教育部会	4回

4) 若手の会:幹事会1回

(3) 各種委員会

1) 本部:

財務委員会	1回
企画・広報委員会	4回
国際交流委員会	4回
編集委員会	4回
研究発表審査委員会	1回
刊行委員会	1回
学会賞選考委員会	1回
功労賞推薦委員会	1回
第1回家政学夏季セミナー実行委員会	5回
家庭生活アドバイザー資格検討委員会	3回

2) 支部:

関東支部	若手の会幹事会3回
中部支部	若手の会役員会3回、中部支部奨励賞選考委員会3回
中国・四国支部	支部賞選考委員会4回
九州支部;	支部賞選考委員会1回

3) 部会:

家政学原論部会	編集委員会他8回
生活経営学部会	選挙管理委員会2回
家族関係学部会	編集委員会他17回
児童学部会	部会2回
食品組織部会	ポスター展示実行委員会他1回
食文化研究部会	会誌編集委員会他11回
被服材料学部会	選挙管理委員会他4回
被服構成学部会	夏期セミナー実行委員会他4回
被服衛生学部会	セミナー実行委員会9回、公開講座実行委員会2回
被服心理学部会	セミナー実行委員会2回
色彩・意匠学部会	夏季セミナー実行委員会2回
服飾史・服飾美学部会	編集委員会他2回
家政教育部会	セミナー実行委員会他3回

8. 会員

会員の状況(平成29年3月31日現在)

	正会員 (永年会員)	学生会員	海外会員	賛助会員	計	増減
支部	東北・北海道	207 (11)	13	-	-	220 ▲19
	関東	956 (36)	72	-	-	1,028 ▲37
	中部	266 (7)	16	-	-	282 ▲12
	関西	473 (18)	42	-	-	515 ▲23
	中国・四国	245 (10)	38	-	-	283 ▲7
	九州	190 (4)	29	-	-	219 ▲6
名誉会員	12	-	-	-	12	0
海外会員	-	-	8	-	8	0
賛助会員	-	-	-	33	33	1
会員種別合計	2,349 (86)	210	8	33	2,600	▲103
前年度との増減	▲108 ▲3	4	0	1	▲103	▲減少

▲減少

9. 附属明細書に関する事項

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。